



Little Diamonds

JUNIOR YOUTH

高円宮杯(U - 15)関東予選 全国大会まであと2勝 5位決定戦へ

高円宮杯第18回全日本ユース(U - 15)選手権関東予選に出場中のレッズジュニアユースは、一次ラウンドを通過したが、11月4日の準々決勝で敗れ、全国大会出場はおあずけとなった。

埼玉県大会2位で関東予選に進んだレッズは、1次ラウンドの初戦で柏レイソルに1 - 1の引き分け。続く湘南ベルマーレに勝ち、3戦目で山梨のフォルトゥナFCに5 - 0で快勝し、2勝1分けのグループ1位で決勝ラウンドに進出した。しかし全国大会出場のかかった1回戦で栃木SCに0 - 2で敗れ、ベスト4入りはならなかった。

11月11日(土)、12日(日)に市原スポレクパークで行われる5位決定トーナメント2試合に勝ち抜けば関東第5代表として全国大会の切符を手にする(写真はすべて1次ラウンド第3戦、フォルトゥナFC戦 = 11月3日)



加瀬 光



眞本啓太



磯部裕基



高瀬優孝



池西 希



石沢哲也



高円宮杯埼玉県予選決勝トーナメント

- ・ 1回戦 2 - 0 春日部東中
 - ・ 2回戦 6 - 1 FC CORUJA
 - ・ 3回戦 5 - 2 坂戸ディプロマツ
 - ・ 準決勝 6 - 2 武南ジュニア
 - ・ 決勝 1 - 3 クマガヤSC
- * 9 / 2 - 10 / 7 埼玉スタ第3グラウンド、他

高円宮杯関東予選 1次ラウンド

- ・ 10 / 28 1 - 1 柏レイソル
 - ・ 10 / 29 1 - 0 湘南ベルマーレ
 - ・ 11 / 3 5 - 0 フォルトゥナFC
- * 栃木県総合運動公園、他

高円宮杯関東予選決勝ラウンド 1回戦

- ・ 11 / 4 0 - 2 栃木SC
- * 鹿沼自然の森運動公園

高円宮杯関東予選 5位決定戦

- ・ 11 / 11 13:30 vs 横浜M新子安
 - ・ 11 / 12 10:00 vs クマガヤSC x F東京深川の勝者
- * 会場は2日とも市原スポレクパーク



清水慎太郎

利根川良大

Jユースカップ 予選リーグ2勝2敗 決勝トーナメント進出へGO!

第4戦、横浜M戦で終了間際、鈴木竜基
(左端)が決勝ゴールを挙げ2勝目(115)



レッズユースはJユースサハラカップ予選リーグ4試合を終え、2勝2敗。グループAの3位につけており、決勝トーナメント進出まであと一步に迫っている。

F東京、東京Vに連敗してスタートした予選リーグだったが、10月29日のホームF東京戦で初勝利。さらに3戦全勝で首位を行く横浜Mをホームに迎えた第4戦でも、89分に鈴木竜基が決勝ゴールを挙げ、勝敗を五分に戻した。

グループAは4チーム中、上位3チームが決勝トーナメントに進むハイレベルなグループ。厳しいサバイバルレースに勝ち残るまで、あと一步に迫った。



鈴木秀史(115 / 横浜M戦)



山崎家光
(1015 / F東京戦)



井田龍応(115 / 横浜M戦)

予選リーグ順位表								
順位	勝	試合数	勝	引	負	得点	得失差	
	点		ち	分	け	点	点	
1	横浜 M	9	4	3	0	1	8	+6
2	F 東京	6	4	2	0	2	6	+2
3	浦 和	6	4	2	0	2	3	-1
4	東京 V	3	4	1	0	3	2	-7

(11月5日現在)

内容と自信、徐々に増えてきた

ユース監督 広瀬 治

2敗のあと2勝と、結果も尻上がりですが、内容も少しずつ良くなっています。ホームF東京戦から、守備でのそれぞれの役割をあらためてはっきりさせた成果が出てきました。

横浜M戦は相手が全勝しているということでモチベーション高く臨みました。ミスは相手より多かったですが、それでも失点せず、最後まで油断なく戦えたと思います。しかし簡単なミスは修正しないとイケません。

グループの相手は、今季のクラブユースや高円宮杯の全国大会に出場しているチームばかりで、そういうチームを相手に結果が出てきているのは自信になっていくと思います。これで気を抜かず、次の東京V戦に向けていきます。

Jユースサハラカップ2006 予選リーグ Aグループ			
2006.10.15(日)13:01 / 深川グラウンド			
FC東京	前0後2	VS	前0後0
U-18	観衆: 149人		浦和レッズユース
0 井上亮太	GK	GK	大谷幸輝 0
2 櫻井誠也	DF	DF	丸山和男 0
0 畑尾大翔			山地 翔 0
(0 棕原健太 / 72分)			浜田水輝 0
1 恩田亮輔			永田拓也 1
2 田中奏一			
(0 岡田翔平 / 72分)			
0 宮阪政樹	MF	MF	高橋大輝 0
2 大竹洋平			(45分 / 山田直輝 3)
1 井澤 惇			山崎家光 0
(0 中野遼太郎 / 89分)			(57分 / 高橋峻希 0)
0 平野又三			三森 翔 0
			矢部雅明 2
1 山村佑樹	FW	FW	鈴木竜基 2
0 米田直人			(81分 / 田仲智紀 0)
(0 森村昂太 / 45分)			宮川貴司 2
			(66分 / 林 容平 0)
9 SH	SH	10	
10 GK	GK	9	
6 CK	CK	3	
16 直FK	直FK	17	
2 間FK	間FK	2	
大竹 / 88分	得点	得点	
恩田 / 88分			
	警告	警告	
櫻井(反スポーツ的行為) / 86分			
審判 / 主審: 加藤寛之			第4: 横山 歩
副1: 青山健太			
副2: 手塚晴康			

Jユースサハラカップ2006 予選リーグ Aグループ			
2006.10.22(日)13:00 / ヴェルディグラウンド			
ヴェルディユース	前2後1	VS	前0後1
観衆: 100人			浦和レッズユース
0 中根 良	GK	GK	柴田大地 0
2 笠松亮太	DF	DF	井田龍応 0
0 石井裕紀			(84分 / 高垣大樹 0)
0 古川将大			山地 翔 0
1 成田久人			金子大樹 0
(2 河野広貴 / 49分)			(70分 / 岸幸太郎 0)
			高橋大輝 0
			(34分 / 菅井順平 0)
0 金沢真吾	MF	MF	三森 翔 0
2 小林裕紀			矢部雅明 3
(0 山越孝太郎 / 87分)			高橋峻希 0
0 村杉聡史			(63分 / 山崎家光 0)
0 平 智弘			田仲智紀 0
(0 落合広輝 / 21分)			
1 真野亮二			
(0 富所 悠 / 68分)			
3 征矢智和	FW	FW	鈴木竜基 2
			武富尚紀 0
			(45分 / 林 容平 3)
11 SH	SH	8	
11 GK	GK	11	
6 CK	CK	4	
18 直FK	直FK	12	
2 間FK	間FK	3	
小林 / 24分	得点	得点	46分 / 鈴木
征矢 / 87分			
	警告	警告	
河野(ラフプレー) / 65分			44分 / 金子(反スポーツ的行為)
征矢(ラフプレー) / 86分			85分 / 林(異議)
審判 / 主審: 青山健太			第4: 加藤慎一
副1: 佐野元康			
副2: 寺田正俊			

Jユースサハラカップ2006 予選リーグ Aグループ			
2006.10.29(日)17:15 / 埼玉スタジアム2002第4グラウンド			
浦和レッズユース	前1後1	VS	前0後0
観衆: 160人			FC東京U-18
0 大谷幸輝	GK	GK	廣永遼太郎 0
0 丸山和男	DF	DF	棕原健太 0
0 山地 翔			恩田亮輔 2
0 菅井順平			畑尾大翔 1
0 井田龍応			
0 高垣大樹	MF	MF	山浦公裕 1
(0 山田直輝 / 45分)			中野遼太郎 2
0 山崎家光			大竹洋平 3
(1 高橋峻希 / 45分)			井澤 惇 1
0 鈴木秀史			森村昂太 2
			(79分 / 稲葉基輝 0)
2 林 容平	FW	FW	山村佑樹 0
(0 浜田水輝 / 89分)			(75分 / 平野又三 1)
0 原口元氣			米田直人 0
(0 永田拓也 / 65分)			(57分 / 加藤淳也 0)
3 鈴木竜基			
6 SH	SH	13	
16 GK	GK	10	
12 CK	CK	9	
18 直FK	直FK	24	
1 間FK	間FK	1	
鈴木 / 88分	得点	得点	
	警告	警告	
井田(距離不足) / 44分			14分 / 大竹(繰り返しの違反)
永田(ラフプレー) / 69分			40分 / 井澤(距離不足)
			55分 / 米田(ラフプレー)
			88分 / 廣永(反スポーツ的行為)
審判 / 主審: 加藤敬太郎			第4: 浜島秀幸
副1: 添田 守			
副2: 林 俊光			

Jユースサハラカップ2006 予選リーグ Aグループ			
2006.11.5(日)13:00 / 埼玉スタジアム2002第3グラウンド			
浦和レッズユース	前1後1	VS	前0後0
観衆: 200人			横浜F・マリノスユース
0 大谷幸輝	GK	GK	佐藤 峻 0
1 丸山和男	DF	DF	金井貴史 0
(0 浜田水輝 / 76分)			田代真一 0
0 山地 翔			広田 陸 0
0 菅井順平			(88分 / 西脇寛人 0)
0 井田龍応			甲斐公博 0
2 山田直輝	MF	MF	山岸純平 0
2 鈴木秀史			幸田一亮 1
1 山崎家光			森谷賢太郎 1
(1 高橋峻希 / 55分)			(66分 / 斉藤 学 0)
2 永田拓也			水沼宏太 0
			(74分 / 戸高裕人 1)
2 鈴木竜基	FW	FW	端戸 仁 1
0 林 容平			(79分 / 木村勝太 0)
(0 宮川貴司 / 67分)			(79分 / 斉藤陽介 4)
			(79分 / 大久保 翔 1)
11 SH	SH	8	
9 GK	GK	10	
1 CK	CK	4	
18 直FK	直FK	14	
5 間FK	間FK	4	
鈴木 / 89分	得点	得点	
	警告	警告	
鈴木(ラフプレー) / 7分			24分 / 水沼(距離不足)
			74分 / 金井(ラフプレー)
審判 / 主審: 内藤善久			第4: 堤 悟一
副1: 山崎洋次			
副2: 長谷川 景			

U - 13 前座試合(10/21) 川崎に敗れる

10月21日、埼玉スタジアムで行われたJリーグ第28節、浦和レッズ - 川崎フロンターレ戦の前座試合として、レッズジュニアユースのU - 13チームが、川崎のU - 13チームと戦い、0 - 1で敗れた。

川崎の速い攻撃をよく封じ、カウンター気味にゴールを狙うレッズジュニアユースだったが、いい形でシュートが撃てず、前半奪われた1点を返せなかった。今季、U - 13チームがトップの前座試合を行うのは4回目で、2勝2敗。



MF 遠藤 拓



FW 片 慎吾



MF 玉城史也



MF 島貫央里



DF 仲田健太



FW 鈴木悠太



MF 野崎雅也



FW 平澤 遼



DF 西山航平



FW 堀田 稜



GK 松尾大吾



DF 皆川孝之

埼玉スタでの試合良かった

DF 西山航平

負けたことはとても悔しいし、自分のミスで失点したことは修正しないといけません。埼玉スタという、良い天然芝のピッチと大きなスタジアムで試合ができたことはとても良かったし、前座なので自分たちが負けるとトップにも影響があるということでプレッシャーを感じながらやってきました。次は横浜Mとやるので頑張ります。

応援が気持ちの強さに

FW 堀田 稜

後半から出たときには0 - 1になっていて、FWとして点を取るのが仕事だったのですが、決められず悔しかったです。トップの前座だとレッズのサポーターの応援が、自分の気持ちの強さにつながり、やる気がすぐ出ます。以前、鹿島とやって点を取ったときには気持ち良かったです。次の横浜M戦は絶対に負けたくないです。

U - 16 日本代表アジアで優勝 レッズユースから4選手が出場

レッズユースの山田直輝、高橋峻希、山地翔、濱田水輝が参加していたU - 16日本代表は、9月3日からシンガポールで行われたAFC U - 17選手権で優勝。来年8月に韓国で行われるFIFA U - 17ワールドカップへの出場を決めた。

グループリーグを2勝1分けのグループ1位で勝ち上がった日本は、9月11日に準々決勝でイランを破り、ベスト4に進出。この時点でワールドカップ出場権を得、さらに14日の準決勝でシリアを、17日の決勝で北朝鮮を破り優勝した。

9月23日、埼玉スタジアムで行われたJリーグ第24節、清水エスパルス戦の前に、4人はレッズサポーターの拍手を受けて優勝の報告を行った。

左から濱田水輝、高橋峻希、山田直輝、山地 翔
(923 / 埼玉スタジアム)



濱田水輝 (1試合出場)

「自分は出場機会にあまり恵まれませんが、アジアのレベルが高いことをあらためて知りました。代表チームにはレベルの高い選手ばかり集まっているので練習だけでも経験になりました。次も選ばれるよう頑張ります」

高橋峻希 (4試合出場)

「事前合宿で良くなかったので気落ちして現地入りしたんですが、第1戦の後半から出てチームに入っていくことができました。世界行きがかかったイラン戦でPK勝ちしたときはみんな泣き崩れていました」

山田直輝 (6試合出場)

「毎試合戦い方が全然違って、難しかったです。初めは相手に合わせる試合になってしまったのですが、イラン戦のあとは自分たちのペースで戦えました。1日おきの試合でコンディションを整えるのが大変でした」

山地 翔 (2試合出場)

「第1戦の前に国歌を聴いたときには、代表で来ているんだと、いつもの公式戦とは違う緊張感を感じました。ベンチにいたことが多かったんですが、外から見て学ぶことも大事だと思い、いろいろ勉強になりました」

兵庫国体少年男子(U-16) 1回戦、静岡に惜敗

9月30日から兵庫県で行われた第61回国民体育大会(のじぎく国体)のサッカー競技少年男子の埼玉県代表は、10月1日の1回戦で静岡県代表と対戦。押し気味に試合を進めたが、延長ロスタイムに失点し、敗退した。

今年から国体のサッカー少年男子は16歳以下という規定ができ、埼玉県代表16人のうち、14人がレッズユースおよびジュニアユースの選手だった。また監督は浦和レッズアカデミーセンターの村松浩センター長が務めた。

攻めの形はできたが得点できず

レッズユースのU-16チームで先発メンバーを組んだ埼玉。中盤をダイヤモンド型にするおなじみの4-4-2で、FWの一角はジュニアユースの原口が務めた。

試合は埼玉ペースで進んだ。左右のサイドを人が入れ替わりながらボールを運び静岡ゴールに迫るが、エリア内を固められフィニッシュまで持っていけない。逆に静岡はカウン

ターから正確にボールをつなぎ埼玉ゴールを脅かす。ボール保持率は埼玉が高かったが、シュート数は静岡の方が多い。

35分ハーフで決着がつかず突入した延長でも展開は変わらず、延長後半9分、静岡はGKを交代させる。PK戦に備えた選手交代に埼玉は発奮。時間内に決着をつけようと相手ゴール前に攻め入ったところ、静岡のゴールキックからカウンターでゴールを決められた。試合中、何度もあった展開だったが、気持ちが前に進んでいた裏を突かれてしまった。

国体少年男子 1回戦	
10月1日、兵庫県立淡路佐野運動公園	
埼玉県	0 VS 1 静岡県
	延長
0	0
0	0
0	1

埼玉県メンバー

GK	柴田大地
DF	菅井順平
	濱田水輝
	山地 翔
	和田祐樹
MF	山田直輝
	高橋峻希
	永田拓也
	田仲智紀
FW	原口元気
	(岸 幸太郎)
	阪野豊史
	(武富尚紀)



田仲智紀



阪野豊史

武富尚紀



原口元気



岸 幸太郎

攻守それぞれの課題ははっきり

アカデミーセンター長 村松 浩
(国体少年男子埼玉県代表 監督)

相手によって戦い方を変えるということなく、常に攻撃的に、人とボールが動いて、ボールを人がどんどん追い越していくサッカーをしよう、ということで静岡戦も臨みました。攻めていくうちにだんだんゴール前を固められて、それをこじ開けることが難しかったです。相手もボールを奪ってからカウンターでシュートまで持っていくことが多かったので、こちらが一方的に押ししていた訳ではないですが、選手たちに勝てる気持ちは十分あったと思います。延長の最後で向こうがPK戦に備えてGKを替えてきたときに、こちらは逆に残りの短い時間でどうも点を取ってやろうと、全体が前がかりになったところで、ゴールキック1本で裏に出されてしまい、決勝点を入れられてしまいました。

レッズのU-16チームはどことやっても、試合を支配することができるとは思うのですが、最後のフィニッシュが決まらないと上には行きません。それと自陣にスペースがあるときの相手のカウンター攻撃への対応が課題でしたが、そういうことが国体という大きな場で選手たちに実感できたと思います。

今後に生かせるものできた

選手の感想から

柴田大地

「1回戦は、メンバー的には埼玉の方が良かったと思うんですが、結果的に負けたということは静岡の方が勝ちたいという気持ちが強かったのかな、と思いますから、勝ちへのこだわりをしっかりと持って戦うことを今後のJユースカップなどに生かしたいと思います」

原口元気

「静岡戦はレベルが高くて楽しかったけど、負けて悲しかったです。こういうレベルでもある程度プレーできるという自信ができました。いま自分がユースでやれているのも、国体があったから、というのもあります」

永田拓也

「相手が引いてきたときに、チャンスはいっぱい作れたんですが、そこで決め切れなかったのが問題だったと思います」

菅井順平

「静岡戦ではうちの目指しているサッカーができたと思います。最後のワンプレーのときに相手のGKが変わったことで、引き分け-PK戦という意識が少なからずあって、そこを突かれてしまい残念でした。ユースが上がってすぐ、自分たちの年代が中心になる全国大会があったことは良かったと思います」